



会長 菅原慶一
幹事 小野寺伸浩
会報 高田次雄 村上武彦
 森田峯男
例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2680回例会 2019. 2. 7 No.29

本日の出席率

・本日の出席率 80.77%

ニコニコボックス

- ・菅原慶一会長 今月の誕生日の方、おめでとうございます。私も2月生まれです。八谷郁夫ロータリー情報委員長のフォーラムに期待します。
- ・飯塚仁哉会員 来たる10日は私の傘寿となる日です。最後の80代です。無駄に人生過ごされなくなりました。一日一日がいとおいしいです。
- ・菅野幸一郎会員 先日は古希のお祝いをして頂きありがとうございました。
- ・山田直志会員 古希のお祝い有難うございます！
- ・八谷郁夫会員 ロータリー情報フォーラムにおつきあい下さい。よろしくお祈りします。
- ・布施孝之会員 八谷郁夫PGのフォーラムに期待します。
- ・佐藤幸一会員 ロータリー情報委員会、八谷郁夫委員長ご苦勞様です。2月誕生の会員おめでとうございます。
- ・江川元徳会員 旧正月終わった、春一番早く来い！
- ・高田次雄会員 冬から春へと移り変わる立春も過ぎ寒暖を繰り返す亥の年、ご自愛下さい。2月誕生日を迎えられる5名の皆さん、お目出度うございます。本日のフォーラム、情報委員会八谷郁夫委員長、勉強させて下さい。
- ・佐藤静市会員 ロータリー情報委員会フォーラム、八谷郁夫委員長勉強させていただきます。
- ・村上武彦会員以下 本日のフォーラムに期待して。
 佐藤敬喜会員 千葉吉男会員 佐々木源悦会員
 岩瀬正彦会員 熊谷敏明会員 高橋利光会員
 布施孝尚会員 山田正会員 武川毅会員
 及川昭宏会員 岩瀬栄市会員 杉田広仁会員
 佐藤早智子会員 及川富男会員 大畑好司会員
 二階堂恭子会員 後藤和人会員

以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原慶一会長

2月に入りまして、暦の上で立春が過ぎたせいか、割と暖かい感じがする今日この頃です。とは言っても週末からは又寒くなるらしく、寒暖差の激しいことからくる体調管理に注意しておきましょう。

さて、ご案内しましたように、今日14日(休)にロータリーについての勉強会を企画いたしました。勉強もしますが懇親を深める目的も大きいので、対象を入会歴の浅い会員の方を中心に考えておりますが、自分ももう一度勉強してみたいと思っている方にも集まっていたら幸いです。講師には八谷郁夫パストガバナーにお願いしております。窓口は小野寺伸浩幹事が行っております。宜しくお祈り致します。

地区の補助金の申し込みを行う手続を開始いたします。今年度に申し込み、次年度での活用です。内容は理事会で協議いたしますが、何か必要とするものを寄贈する、あるいは前年度の剣道大会のような記念大会の費用とするなど色々検討しております。ただし、準備の日数はありません。3月中旬に提出書類のまとめは必要ようです。ご意見ございましたら宜しくお願いいたします。

幹事報告 小野寺伸浩幹事

- ・ガバナー事務所より
- 1. クラブ奉仕・プロジェクト等の写真(データ)の提出について
地区大会開催の際に紹介。提出期限：2月28日(休)
- 2. 地区大会の案内
日 時 本会議 4月21日(日)
場 所 盛岡グランドホテル
- 3. 地区大会親睦記念ゴルフ大会開催の案内
日 時 4月19日(金) 7:30受付 8:15開会式
会 場 メイプルカントリークラブ
登録料 5,000円
プレー代 15,000円

誕生祝 (2月に誕生日を迎えられる会員)

後藤益美会員 飯塚仁哉会員 菅原慶一会員
佐々木淳会員 佐竹孝之会員



2月に誕生日を迎えられる会員

フォーラム

・ロータリー情報委員会 (八谷郁夫委員長)

今日は、ロータリー活動の推移と背景について手続要覧を通して考えて見たいと思います。ロータリーの行動規範となる手続要覧は、地区及びクラブより提起された案件について、3年毎に世界532地区の代表委員参加のもと、規定審議会で協議され投票により採択されたものが、理事会を経て手続要覧に反映されるものです。

今回は、最重要と考えられますロータリーを最も良く表現しているものと言う1923年の国際大会で採択された社会奉仕に関する声明について(決議23-34採択)お話ししたいと思います。

1992年の社会奉仕に関する声明について、2013年版には、第7章・奉仕部門の社会奉仕のところに入っておりますが、2016年版では、基本理念のところに入っております。2013年版の基本理念のところには、四つのテスト、ロータリーの目的、国際ロータリーの使命、ロータリー財団の使命、中核的価値観は載っておりますが、決議23-34は記載されておられません。2016年版になりますと、1番目に、社会奉仕に関する1923年の声明、2番目に、社会奉仕に関する1991年の声明、そして、中核的価値観、四つのテスト、ロータリーの目的、五大奉仕部門、ロータリークラブの目

的、青少年と接する際の行動規範に関する声明、国際ロータリーの標語(「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」)、ロータリーの使命、ロータリー財団の標語(「世界で良いことをしよう」)、ロータリー財団の使命となっております。

ロータリーの歩みを見ますと、1905年2月23日ポール・ハリスを中心として3人の友人で作った時は、親睦と相互扶助を目的とした会合で、ビジネスサークルに近い状態であったということが言えるのではないかと思います。この時から一業種一人の会員というルールが設けられており、競合、摩擦による真の友情を妨げることをさけるためになされていたことです。しかし世間から悪評を浴びる、世間体が悪い、周囲の理解を得なければ世間の信用を得ることが出来ないと言うことで、社会奉仕の実践に取り組むこととなります。ロータリーに奉仕のゆるぎない概念を提唱したのは、アーサー・フェデリック・シェルドンです。シェルドンは解放的な企業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業をやっていくということを提唱しました。

1911年に、Serviceがあつてselfという言葉が世界大会で発表されました。Service Above Self(超我の奉仕)となっております。「超我の奉仕」という表現になったのは1950年です。社会奉仕の理由付けが職業奉仕理念です。職業奉仕の成功なくして奉仕の思いはとかれてこない。そして奉仕することが成功につながるという考えがなされるようになりました。この考え方は、1908年アーサー・シェルドンの入会によって出されました。「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という他の団体にはない職業奉仕理念が確立されました。One Protits Most Who Serves Bestがロータリーの公式標語です。

そういう状況の中で、理念派と実践派の対立の論争が生じております。奉仕の心の形成をいう職業奉仕と奉仕の実践をいう社会奉仕の論争です。これからロータリーは2つのモットーを持っているということがわかりだと思ひます。即ち、職業奉仕のモットーと社会奉仕のモットーです。

職業奉仕と社会奉仕の調和を図るために、23-24の声明がなされました。このあい異なる2つの考え方をロータリーの寛容の精神のもとで調和させるための試みが1923年に採択された決議23-34です。

第8回理事会議事録(2月7日(木)分)

協議事項

- (1)クリスマス例会時のオークション収益金について
2/28(木)例会にて贈呈する(わかかさん2名参加)
- (2)三委員会表彰・中間報告
優良従業員 4社5名(追加の可能性あり)、地域善行者 1名 佐藤貞七さん(ボーイスカウト)
青少年善行者 0名
従来の青少年とその指導者に対象を広げる。今年度の対象者については青少年委員長に一任
- (3)新入会員へのレクチャーについて
2/14(木) 18:30~ 於:若鯨、現在希望者19名
- (4)財団資金による事業について
祝祭事業団に、ティンパニーの寄付を検討。
- (5)仙台平成RC創立30周年記念について
4/6(土)、欠席(お祝いメッセージを送る)